

## 第4回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和元年8月19日（月）14:00～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

＜議事：路線再編に関するケーススタディについて＞

【資料1-1】路線再編の全体像 【資料1-2】ケーススタディ（前回提示資料）

【資料1-3】ケーススタディ（その他方面について追加検討）

	意見	回答
連合 町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山市のバス路線は、岡山駅や天満屋とつながっているが、例えば操明学区では、岡南大橋を渡って労災病院等へ行く東西の路線ができないかという意見がある</li> <li>限られた財政状況で、どうやってバス路線を確保していくかを市が苦勞しながら考えているので、事業者の方も話し合いをしないと解決しない。力を合わせてやっていかなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線再編の理念は明確で、「利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供する」ことである。</li> <li>その実現に向けた提案として、若干過剰な幹線部分の便数を支線に持っていければ周辺部の方々にとってプラスになるのではないかというものである。</li> </ul>
連合 婦人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからは生活交通と公共交通のマッチングが大事だと思う。</li> <li>乗り継ぎは利用者にとって不便なので、乗り継ぎを伴う路線再編がどうしても路線を維持するために必要なことなのかを教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り継ぎで不便となる部分もあるが、現状のままでは路線そのものがなくなる可能性があるため、路線維持のための案として考えている。</li> </ul>
障害者 団体 連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗り継ぎを伴う再編については、利用者の中には足の不自由な方もいるので、何らかは直通を残してもらえると助かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただ、乗り継ぎの問題については、出来るだけ利便性の低下につながらないように乗り継ぎの負担軽減等について整理していきたい。</li> </ul>
岡山 商工 会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の一番の関心は、自分が住んでいる地域の路線がなくなってしまうことであり、今まで以上に事業者と対話をしながら、マイカーから公共交通へ転換させる工夫について、市だけでなく全員で考えていくべきだと思う。</li> </ul>	

## 第4回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和元年8月19日（月）14:00～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

<p>岡山 電気 軌道</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回のケーススタディは、再編実施計画であり、まずは市民にわかりやすい将来の交通網を示した網形成計画を議論すべきである。計画作りには公共交通に対する岡山市の明確な理念とビジョンが必要。</li> <li>• 市民が最も心配していることは、2016年実施のアンケートでも明らかのようにバス路線が維持されるかどうかであり、その要望に込えているのかどうか気がかりである。岡電は7割、両備は8割の路線が赤字である。</li> <li>• 熊本市では公共交通条例があり、市として交通空白地帯を埋めていくという決意が示されており、一つの先進事例として学ぶべきである。</li> <li>• 具体の再編案については、経費削減効果を試算すると、市が示した額より小さく、公共交通の特質性を理解していないのではないか。朝の便を増やすことによるコストの増加も考慮されるべき。</li> <li>• 岡南方面の案は、玉野市からの速達性が失われ、乗継ぎの不便とそれによる利用者減の可能性がある上に、経費削減は約800万円で市の試算より少なく、また一部路線が築港新町で乗り継ぎをしなければならなくなるため、利用者にとってプラスの案ではない。</li> <li>• 妹尾方面の案は、重井病院や駒形団地の利用者の68%が岡山駅以外からの乗降であるため、妹尾駅を交通結節点にすれば重井病院等への通勤利用者等が不便になるだけである。</li> <li>• 三野方面の案は、経費削減は約1200万円で市の試算より少なく、また宇野バスと岡電バスの経路が番町から異なるため、検討に無理があるのではないかと。また、本案では岡電バスをNTT岡山前・柳町一丁目等で乗降する57%の利用客が不便になり、利用者を蔑ろにしている。</li> <li>• 高屋方面の案は、昼間を減便しても朝便には持って行けず、朝を増便やすするためにはバスを増やさなければ実現できない。減便により岡山駅より先まで行く60名の利用を失うことで300万円の損失となり、効果はない。</li> <li>• 西大寺方面の案は、供給過剰の地域に新規事業者を参入させておきながら、余裕があるので減便せよというのはいかかなものか。西大寺線の問題は渋滞により定時制・速達性が損なわれていることで、その解消に向けマイカーの乗り入れ規制や接続バスによる輸送力の拡大、東山でのスムーズな乗り継ぎを可能とする施策の検討が必要。</li> <li>• 芳泉方面の案は、単なるバス停飛ばしであり、利用者目線ではない。</li> <li>• 事業者で寄り添って交通連合を作り、全体の再編を図っていくべきである。各論の前に基本的なしっかりした安心できる交通網をつくってもらえるようお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 網形成計画の案については、次回以降に示したいと考えているが、網形成計画が絵に描いた餅にならないために、具体の再編案について議論させていただいているところである。</li> <li>• 経費削減効果については今後、事業者と相談させていただきながら精査してまいりたい。</li> <li>• 具体の再編案は、路線を維持するために乗り継ぎなど一部不便となる部分はあるが、何が許容できるか、またはサービス維持・向上のための取り組みができないかを検討した上で取りまとめていきたい。</li> <li>• 公共交通を利用しやすいものにし、また経営の安定化を図るための施策として、高齢者や障害者への料金割引を検討していきたいと考えているが、ネットワークを維持していくことが前提であり、路線再編の実施とあわせて取り組んでいく。</li> <li>• 今日のご意見を参考に、引き続き事業者との協議の中で取りまとめていきたい。</li> </ul>
-------------------------	---	---

## 第4回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和元年8月19日（月）14:00～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

八晃 運輸	<ul style="list-style-type: none"><li>事業者間の協力が必要ということであれば、一步も前に進まない岡山駅前広場へのめぐりん乗り入れについてまずは進めるべきである。</li></ul>	
両備 HD	<ul style="list-style-type: none"><li>8割の赤字路線は黒字路線で維持しているが、西大寺線は5千万円あった利益が現状は70万円に下がっているという実態がある。</li><li>公共交通を乗りやすく便利にする仕組みをつくるのが協議会の目的であり、事業者としても最大限できることをやっていきたい。</li></ul>	

### 2. 今後の進め方

各委員の意見を踏まえ、引き続き、路線再編の検討を行うとともに、高齢者・障害者への料金割引等の他の施策について検討し、公共交通網形成計画の取りまとめを進めることとする。

